はやで邪馬台国は福井にあったんやって！

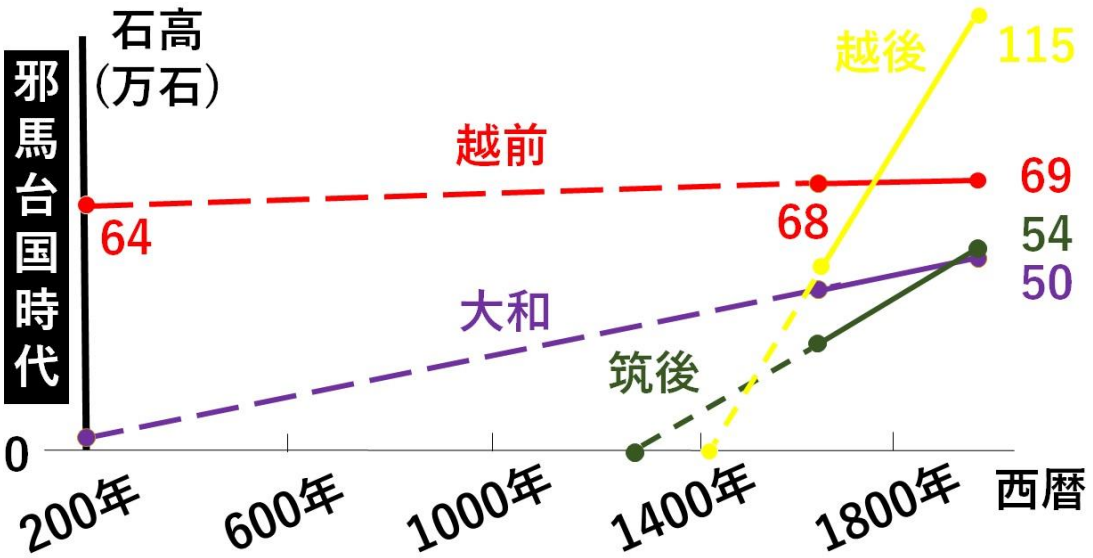
越前 － 日本一の水田適地

弥生時代は、水田稲作という高効率で人口扶養力の高い穀物栽培が始まった時代です。そんな中で、日本列島で初めて一極集中型の超大国が出現しました。それが魏志倭人伝に記されている邪馬台国です。「七萬餘戸」もの規模があったとされ、一戸当たり六人住んでいたとすれば４２万人の人口、すなわち４２万石以上の農業生産があった事になります。

邪馬台国時代の１８００年前の日本列島は、そのほとんどが湿地帯や湖、そして密林地帯が広がっていましたので、現代の感覚とは大きく異なる状況でした。そんな中で、開拓開墾の必要がなく天然の状態でも水田稲作が行われた場所にだけ、人口爆発が起こりました。
その場所こそが、越前の国・福井平野なのです。

福井平野の構造は、べったりと平坦で水はけが悪いという、非常に優れた天然の水田適地です。今回はこの成り立ちを示す前に、実際の数値で、越前の国・福井平野がいかに優秀な穀倉地帯だったかを示します。

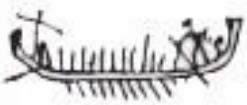
日本で最初に農業生産高を正確に数値化した１６０４年の「慶長郷帳」と、１８７２年の石高帳の数値から、江戸時代２６０年間の石高推移が分かります。この期間の推移が、１８００年前から同じペースで進行してきたと仮定します。
すると、邪馬台国時代に最も農業生産が高かった場所が分かります。



はやで邪馬台国は
福井にあったんやって！

◎日本一の天然の水田適地

・日本一の鉄器出土数



・日本最古の大型外洋船の絵

・日本最古の金冠、銀冠

・継体天皇の近畿征服

・日本で最初の紙の生産

・女傑 神功皇后の都 敦賀

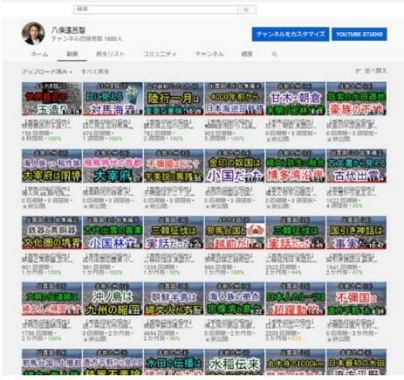
・邪馬台国への行路の完全一致

・卑弥呼の墓の完全一致

詳細は、ホームページと YouTube 動画で解説しています。

https://www.xhimiko.com/

ホームページ



YouTubeページ